

げんきっこ新在家の活動について

げんきっこ新在家プロジェクト
(執筆者 城下萌々)

1. 団体概要

げんきっこ新在家プロジェクトは、2004年10月に「大学生がつくる地域の子育てコミュニティげんきっこ新在家」の運営を開始し、17年目を迎える学生団体です。現在、4名の学生が所属しています。



図1：ハロウィンとクリスマス会で着ぐるみを着て子どもと触れ合う学生の様子

2. 活動紹介

新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度は全く活動ができませんでしたので、2019年度までの活動をご紹介します。

げんきっこ新在家は、地域の親と子が安心して集える場所として、毎週火曜日と木曜日（長期休暇中は火曜日のみ）の10時30分から12時00分の間、大学内の遊戯室と園庭を開放しています。環境人間学部のキャンパスには元付属幼稚園の施設が残っており、子どもが過ごすのに適した環境となっています。特に中庭は、天然の芝生が生え、自然に触れ合いながら遊べるため、季節を問わず子どもたちが走りまわっています。



図2：イチョウの落ち葉で遊ぶ子どもたちの様子

平日の活動はおもに自由遊びで、参加者と学生が交流しながらのんびりと過ごしています。活動における学生の主な役割は、安全に過ごすための場の環境づくりと、おかえり前の手遊び&絵本の読み聞かせです。活動を始めた2004年から17年間変わらず受け継いでいる思いは、「地域の方々が、

ぶら〜っと来てぶら〜っと帰る。そんな気軽に立ち寄れる井戸端会議みたいな場になれば…」というものです。

毎月第3火曜日には、シニア世代のボランティアグループ「朗読ボランティア えりの会」に来てもらい、紙芝居や歌、ピアノ、手品などの楽しいイベントも実施しています。それにより、げんきっこ新在家は、学生、親、子、シニアの4世代が交流する場になっています。また、七夕、ハロウィン、クリスマスの時期には、休日に季節のイベントを実施します。地域のボランティアグループや学生サークルなど、これまで多くの方にかかわっていただき、学生にとっても参加者にとっても貴重な触れ合いの機会となっています。



図3：たなばた会の様子

3. 学生の感想

- ・子どもたちが会う度に成長している姿を見るのが楽しかったです。一緒に遊んでいるなかでもオセロのルールを覚えたり、喋れる言葉が増えたりするのを見るのが嬉しかったです。
- ・ハロウィンのときみんなの仮装がとても可愛かったのが印象的でした。
- ・多くの子ども達と触れ合うことが出来てすごく楽しかったし癒されました。
- ・げんきっこは地域の方々が気軽に立ち寄れる場所なのと同時に、私たち学生にとっても子ども達から元気をもらえるような場所だと思っています。
- ・子どもとその親、そして学生が触れ合って笑顔でいっぱいげんきっこがこれからも続いていけばいいと思います。

4. まとめ

これからもこの場所が、大学生がつくる地域の子育てコミュニティとして機能し、かかわる全ての方がエンパワーメントされる場であり続けられるように、活動を続けていきたいと思っています。